

3 - 3 東洋史

研究・教育活動の概要と特色

本研究室の特色は、1. 中国思想・文学という他専攻分野との連携を重視する。2. 教員各3名がすべて中国史研究者である。3. 学生・院生に対する指導では、特に中国古典文(漢文)の読解を重視する、の3点に要約される。1は本研究室の初代教授岡崎文夫以来の伝統を継承したものである。中国の人と文化の理解に至るには、歴史であれ思想であれ文学であれ、単一の分野からの接近だけではおのずから限界があるとした、岡崎および武内義雄(経学)・青木正児(文学)の立場は、三者の師内藤湖南のそれを継承したものにほかならないが、今日にいたっていよいよその斬新さが際立つ。

両専攻分野との研究活動等における交流が、中国史自体を裨益するとみなし、本研究室はかかる伝統の維持につとめている。具体的にいえば、三専攻分野共同で編集する雑誌『集刊東洋学』(年二回刊行)は、すでに105号を数える。2.は1.の中国研究を中心課題とする伝統とも密接に関連するが、一方では最大三名しか許容されない教員スタッフを以て学界における特色ある地位を確保するためには、限られた人員を中国史分野に集中すべきであるという、現実的判断の結果でもある。現在では熊本(宋元史)、教授川合(魏晋南北朝隋唐史)、准教授大野(明清史)によって、前近代中国史のほぼ全体をカバーしている。3.は具体的には演習の重視である。演習を卒論・修論執筆のための、訓練の場と位置づけ、複数報告者による訳注稿の提示、これを基礎とした報告者相互の議論など、様々な方法を試みつつ、史料読解力、論証能力、表現力の涵養を目指している。因みに授業自体は中国古典文解読を中心とするが、学生・院生の研究課題設定はその自主的判断に委ねている。本研究室出身者のなかには、渤海を中心とした環日本海史あるいは清代モンゴル史研究を選択して成果をあげ、それぞれ大学に職を得ているものもいる。

組織

1 教員(2011年9月末現在)

教授:2

准教授:1

教授:熊本 崇、川合 安

准教授:大野晃嗣

2 在学生数(2011年9月末現在)

学部 (2年次以上)	学部 研究生	大学院博士 前期	大学院博 士 後期	大学院 研究生
11	1	3	5	0

3 修了生・卒業生数 (2007～2011年度)

年度	学部卒業生	大学院博士課程 前期修了者	大学院博士課程 後期修了者 (含満期退学者)
07	2	2	2
08	3	1	0
09	4	0	1
10	1	1	0
11	0	0	1
計	10	4	4

* 2011年度は、9月末までの数字

過去5年間の組織としての研究・教育活動 (2006～2010年度)

1 博士学位授与

1-1 課程博士・論文博士授与件数

年度	課程博士授与件 数	論文博士授与件 数	計
07	1	0	1
08	0	0	0
09	1	0	1
10	0	0	0
11	1	0	1
計	3	0	3

* 2011年度は、9月末までの数字

1-2 博士論文提出者氏名、年度、題目、審査委員

佐藤賢，2006年度，『北魏における政権の形成とその担い手たち』

審査委員：教授・川合安(主査)，教授・熊本崇，教授・佐竹保子，講師・大野晃嗣)

江村知朗，2007年度，『春秋時代の祖先観念に関する研究』

審査委員：教授・川合安(主査)，教授・熊本崇，教授・佐竹保子，講師・大野晃嗣，教授・谷口満（東北学院大学）

清水浩一郎，2009年度，『南宋高宗朝三省制の研究』

審査委員：教授・熊本崇（主査），教授・川合安，教授・三浦秀一，准教授・大野晃嗣

小尾孝夫，2011年度，『南朝宋齊政権の権力構造とその基盤』

審査委員：教授・川合安（主査），教授・熊本崇，教授・佐竹保子，准教授・大野晃嗣

2 大学院生等による論文発表

2 - 1 論文数

年度	審査制学術誌 (学会誌等)	非審査制誌 (紀要等)	論文集 (単行本)	その他	計
07	2	0	2	0	4
08	2	0	0	0	2
09	1	0	3	2	6
10	2	2	0	0	4
11	1	1	2	0	4
計	8	3	7	2	20

* 2011年度は9月末までの数字。ただし、以後の掲載が決定しているものも含む。

2 - 2 口頭発表数

年度	国際学会	国内学会	研究会	その他	計
07	0	5	0	1	6
08	0	5	1	0	6
09	1	5	0	0	6
10	1	3	2	0	6
11	2	5	2	0	9
計	4	23	5	1	33

* 2011年度は9月末までの数字。ただし、以後の発表が決定しているものも含む。

2 - 3 上記の大学院生等による論文・口頭発表の中の主要業績

(1) 論文

工藤寿晴「遼許従贗墓誌銘考釈 燕雲地域獲得直後における雲州の様相

を考察する手掛りとして」，白山史学会『白山史学』第 45 号，2009 年 4 月

佐藤 賢「もうひとつの漢魏交替 北魏道武帝における『魏』号制定問題をめぐって」，東方学会『東方学』第 113 輯，2007 年 1 月

清水浩一郎「南宋告身の書式について」，東北史学会『歴史』第 108 輯，2007 年 4 月

高橋 亨「明代庶吉士制の成立とその背景 永樂二年科庶吉士を中心として」，中国文史哲研究会『集刊東洋学』第 96 号，2006 年 10 月

高橋 亨「明代永樂期内閣官の性格について」，東北史学会『歴史』第 116 輯，2011 年 4 月

水盛涼一「曾国藩和他的親信史家 從清末到民初太平天国起源伝説的形成過程」，湘潭大学曾国藩研究中心主弁・王繼平主編『曾国藩研究』第 1 輯，湖南人民出版社，2007 年 6 月

水盛涼一「曾国藩和他的親信史家 從清末到民初太平天国起源伝説的形成過程」，王繼平・李大剣主編『曾国藩与近代中国』岳麓書社，2007 年 11 月

水盛涼一「書評・太田出・佐藤仁史編『太湖流域社会の歴史学的研究 地方文献と現地調査からのアプローチ』」，中国文史哲研究会『集刊東洋学』第 99 号，2008 年 5 月

水盛涼一「翻訳・汪士鐸『乙丙日記』，李圭『思痛記』，毓賢「山東の教案処理に関する上奏」，惲毓鼎『崇陵伝信録』」，(編集委員：野村浩一・近藤邦康・並木頼寿・坂元ひろ子・砂山幸雄・村田雄二郎)『新編 原典中国近代思想史』岩波書店，第一巻『開国と社会変容 清朝体制・太平天国・反キリスト教』第三節「太平天国 民衆反乱の連鎖と体制再編」・第四節「仇教運動から義和団の活動へ」，2010 年 2 月

水盛涼一「解題・劉麗川「上海小刀会の首領劉の告示」，張洛行「張洛行告示(付軍律)」，宋景詩「山東の黒旗軍の告示二通」」，(編集委員：野村浩一・近藤邦康・並木頼寿・坂元ひろ子・砂山幸雄・村田雄二郎)『新編 原典中国近代思想史』岩波書店，第一巻『開国と社会変容 清朝体制・太平天国・反キリスト教』第三節「太平天国 民衆反乱の連鎖と体制再編」，2010 年 2 月

水盛涼一「中国近代史関係文書の研究 『思痛記』に見る清朝批判と出版統制」，東北大学大学院文学研究科大学院 GP 事務室編『大学院

- 教育改革支援プログラム 歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画 平成20年度 事業成果報告書』, 2010年3月
- 水盛涼一「上海図書館蔵中国清末地方官僚制度有關文献解題稿」, 東北大学大学院文学研究科大学院 GP 事務室編『大学院教育改革支援プログラム 歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画 平成20年度 事業成果報告書』, 2010年3月
- 水盛涼一「新刊紹介・大阪経済大学日本経済史研究所編『東アジア経済史研究 第一集 ~ 中国・韓国・日本・琉球の交流 ~ 』」, 東北史学会『歴史』第115輯, 2010年9月
- 水盛涼一「近代中国における出版自主規制について 清末と現代にみる言葉遊びの真実」, 東北大学大学院文学研究科大学院 GP 事務室編『組織的な大学院教育改革支援プログラム 歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画 平成二一年度 院生プロジェクト成果報告書』, 2011年2月
- 水盛涼一「清末出版統制序説 禁書指定・自主規制・地下出版のはざままで」, 東北大学大学院文学研究科大学院 GP 事務室編『組織的な大学院教育改革支援プログラム 歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画 平成二一年度 事業成果報告書』第一分冊, 2011年3月
- 水盛涼一「厦門大学教育研究院における研修について」, 東北大学大学院文学研究科大学院 GP 事務室編『組織的な大学院教育改革支援プログラム 歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画 平成二一年度 事業成果報告書』第一分冊, 2011年3月
- 水盛涼一「清末における地方官僚社会の変容 浙江省各種『同官録』成立を中心として」, 東北大学大学院文学研究科大学院 GP 事務室編『組織的な大学院教育改革支援プログラム 歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画 平成二〇~二二年度 歴史資源アーカイブ成果報告書』, 2011年4月
- 水盛涼一「中国地方官僚人名録解題稿 『同官録』の世界」, 東北大学大学院文学研究科大学院 GP 事務室編『組織的な大学院教育改革支援プログラム 歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画 平成二二年度 事業成果報告書』, 2011年5月
- 水盛涼一「清末官員考試制度小論 以浙江『甄別仕途新章』為中心」, 天一閣博物館編『科學與科學文獻國際學術研討會會議論文集』上冊, 上海書店出版社, 2011年7月

水盛涼「太平天国江南蘇福兩省地域考略　以清末江蘇甯屬蘇屬的分化為中心」，
南京大學・中國太平天國史研究會・江蘇省太平天國史學會・太平天國歷史博物館
館『紀念太平天國起義一六〇周年學述研討會論文集』太平天國歷史博物館，2011
年 8 月

三田辰彦「西晋後期の皇位繼承問題」，中国文史哲研究会『集刊東洋学』，第 99 号，
2008 年 5 月

三田辰彦「六朝諸王皇位繼承初探　以皇位繼承的特殊類型分析為中心」，
『第三届中国中古史青年学者聯誼会報告匯編』，2009 年 8 月

三田辰彦「東晋の哀帝と皇統繼承問題」，東北史学会『歴史』第 114 輯，
2010 年 4 月)

渡邊英幸「秦律の夏と臣邦」東洋史研究会『東洋史研究』第 66 卷第 2 号，2007 年

(2) 口頭発表

江村知朗「吳国大型墓葬に関する基礎的考察　寧鎮地域・太湖周辺地域の王墓・
貴族墓を中心に」，東北史学会，東北大学，2007 年 9 月 30 日

小尾孝夫「南朝前期における南徐州無実土僑郡県と中央軍」，第 57 回東北中国学会
大会，北海道大学，2008 年 5 月 25 日

工藤寿晴「遼「許從贊墓誌銘考釈」」，白山史学会，東洋大学，2008 年 6 月 28 日

工藤寿晴「「大契丹」から「大遼」へ　「大遼」建号時期とその意味を
めぐって」，東北史学会，東北大学，2009 年 10 月 3 日

佐々木仁志「わが国における前漢初期諸侯王国の研究」，東北史学会，東
北大学，2011 年 10 月 2 日（予定）

清水浩一郎「南宋高宗擁立始末」，東北史学会，東北大学，2007 年 9 月 30 日

清水浩一郎「南宋高宗期の「太后」孟氏について」，第 34 回宋代史研究会夏季合宿，
福岡大学，2008 年 8 月 19 日

清水浩一郎「南宋高宗朝における宰執の三省・枢密院兼任事例についての一考察」，
東北史学会，東北大学，2011 年 10 月 2 日（予定）

高橋　亨「永樂庶吉士制の展開について　古文教習の成立とそのゆくえ」，東北
史学会，東北大学，2007 年 9 月 30 日

高橋　亨「明代吉安府における家塾教育と当地士人間の交流について」，東北史学
会，山形大学，2010 年 10 月 3 日

高橋　亨「明代進講制度の形成について」，東北史学会，東北大学，2011 年 10 月

2日(予定)

水盛涼一「世紀末浙江における行財政構造の変容 光緒末年の釐金制度改革を中心に」東北史学会，秋田大学，2008年10月5日

水盛涼一「戦災復興と秩序形成 近代中国江南の移民流入と社会変容」，アジア社会研究会第三回シンポジウム，東北大学，2009年1月31日

水盛涼一「光緒初葉浙江の行財政再建過程 釐金制度改革の継承と展開を中心に」，第58回東北中国学会，東北大学，2009年5月31日

水盛涼一「浙江省嘉興府釐金制度改革始末 光緒末年の行財政改革の様相」，東北史学会，東北大学，2009年10月3日

水盛涼一「光緒年間初葉の税制改革 浙江省の釐金制度改革を中心に」，第107回史学会大会，東京大学，2009年11月8日

水盛涼一「清末漢土における八旗官僚の動向」，共同研究「北アジアにおける帝国統治の遺産に関する研究」平成22年度第1回研究会，東北大学，2010年7月3日

水盛涼一「清朝末期の漢地における八旗官僚の趨向」，第5回清朝時代史懇話会，早稲田大学，2010年度9月29日

水盛涼一「清末官員考試制度小論 以浙江『甄別仕途新章』為中心」，科舉與科舉文獻國際學術研討會，寧波天一閣博物館，2010年12月20日

水盛涼一「科舉正途官僚と雜途官僚 『同官録』より見た清末官僚社会の変容」，応用科挙史学研究会第四回ワークショップ，東北大学，2011年8月4日

水盛涼一「太平天国江南蘇福兩省地域考略 以清末江蘇甯屬蘇屬的分化為中心」，紀念太平天國起義一六〇周年學述研討會，南京大学，2011年8月12日

水盛涼一「太平天国における戯曲政策散論」，第九回特別推進研究「清朝宮廷演劇文化の研究」研究会，東北大学，2011年9月13日

水盛涼一「科舉正途官員與雜途官員 通過同鄉會館的建立看清末官僚社會的變革」，第八屆科舉制與科舉學國際學術研討會，武漢大学，2011年9月25日

水盛涼一「常税と釐捐のあいだ 清末安徽省における蕪湖関・鳳陽関の処遇変遷をめぐって」，東北史学会，東北大学，2011年10月2日(予

定)

三田辰彦「東晋哀帝と皇統継承問題」, 東北史学会, 東北大学, 2007年9月30日

三田辰彦「第三皇子」と宋齊の皇位継承」, 東北史学会, 秋田大学, 2008年10月5日

三田辰彦「六朝諸王皇位継承初探——以皇位継承的特殊類型分析為中心」, 第三届中国中古史青年学者聯誼会, 武漢大学 / 中国武漢市, 2009年8月29日

三田辰彦「東晋劉宋期の皇太妃と皇太后」, 第59回東北中国学会, 弘前大学, 2010年5月30日

三田辰彦「東晋の「皇太妃」号議論とその展開」, 第14回六朝學術学会, 斯文会館講堂, 2010年6月13日

三田辰彦「東晋中葉の尊号問題——皇太妃号の議論を中心に」, 第109回史学会大会, 東京大学, 2011年11月6日

武藤遥「乾隆期における雲南銅の生産について」, 東北史学会, 東北大学, 2009年10月3日

渡邊英幸「夏与臣邦——秦律中的『中華』觀念」, 講演会, 武漢大学簡帛研究中心, 2007年1月25日

渡邊英幸「先秦時代の華夷觀念と秦律の『夏』」, 第56回東北中国学会, 山形大学, 2007年5月26日

渡邊英幸「資料解説」, 東北学院大学オープンリサーチセンター公開座談会「長江流域出土文字資料研究二十五年」, 東北学院大学, 2007年10月10日

3 大学院・学部生等の受賞状況

なし

4 日本學術振興会研究員採択状況

2007年度 / PD / 受け入れ / 1名

5 留学・留学生受け入れ

5 - 1 大学院生・学部生等の留学生

2007年度 大学院 計1名 復旦大学歴史系(中華人民共和国)

2008年度 大学院 計2名 浙江大学歴史系(中華人民共和国)

南開大学歴史系（中華人民共和国）

2009年度 大学院 計1名 南開大学歴史系（中華人民共和国）

2011年度 学部生 計1名 The University of Alabama（United States of America）

5 - 2 留学生の受け入れ状況（学部・大学院）

年度	学部	大学院	計
07	1	0	1
08	1	0	1
09	2	0	2
10	1	0	1
11	2	1	3
計	7	1	8

6 社会人大学院生の受け入れ数

年度	前期課程	後期課程	計
07	0	0	0
08	0	0	0
09	0	0	0
10	0	1	1
11	0	0	0
計	0	1	1

7 専攻分野出身の研究者・高度職業人（2001～2011年度）

7 - 1 専攻分野出身の研究者

中村篤志，山形大学，2004年

渡邊英幸，愛知教育大学，2011年

7 - 2 専攻分野出身の高度職業人

中高教員4名，ジャーナリスト4名，出版社社員1名

8 客員研究員の受け入れ状況

なし

9 外国人研究者の受け入れ状況

なし

10 刊行物

2007～2011年 『集刊東洋学』（専門分野の機関誌）*，年2回発刊

2007～2011年 『東北大学東洋史論集』（専門分野の機関誌）隔年刊行（但し，2009年より休刊中）

* 中国語学文学研究室および中国思想中国哲学研究室との共同編集

11 学会・研究会・講演会・シンポジウム等の開催・事務局等引き受け状況

2009年8月7～9日 明清史夏合宿 事務局

12 専攻分野主催の研究会等活動状況

2006年12月10日 第12回漢魏石刻の会

13 組織としての研究・教育活動に関する過去5年間の自己点検と評価

過去5年間で、本研究室在籍中に博士学位を取得したものは、3名にとどまる。彼らは、前期課程と通算して5年で、学位を取得したわけではない。1名は後期課程進学後6年目で、2名は、後期課程退学後、学位を取得したものである。本研究科では進学後3年以内での学位取得は実際には、かなり難しい。だが最低でも（留学期間を控除するとして）後期課程在籍を許される6年（表裏各3年）以内での、学位取得件数を、増加させなければならない（但し、現段階では在籍4～6年のもの計3名が学位論文準備中である）。

総体に後期課程院生の業績不足の遠因は、院生の多くが目前の論文のための事例検索を専らとして、論文執筆の一方で継続的に行われるべき基本史料の体系的解読を、おろそかにしている点に求められると思われる。たとえ当面の論文は完成できても、その作業が次のそれに連続しえず、主題もより一層の展開を達成しえない。これが実情であると思われる。また研究室内部での研究会、読書会等、院生が相互に刺戟し切磋しあう場が適正に機能していないことも遠因のひとつであろう。この点を考慮しつつ、以後指導に努めたい（いうまでもなく研究会等の活性化は、前期課程延いては学部生をも裨益する）。

この5年間における本研究室からの海外留学は4件にすぎない。それ以前に比べれば確実に増加したとはいえるが、決して十分な多数ではありえない。本研究室および本学図書館は、旧帝大以来中国文献を蓄積してきたから、留学が研究環境を劇的に好転させると

は思われない。だが語学力の大幅な向上およびなによりも中国人研究者との人脈形成は、長期的には個々の研究活動に有利に作用するのも確実であろう。短期的にも所謂「コミュニケーション能力」の獲得は、必ずしも良好とはいえない学術振興会研究員獲得状況を改善させるとも期待できる。今後、特に学術論文2本を執筆し、学位論文執筆資格を獲得したのものには、積極的に留学を勧めてゆく。

教員の研究活動（2007～2011年度）

1 教員による論文発表等

1 - 1 論文

熊本崇「宋執政攷 元豊以前と以後」、『東北大学東洋史論集』第11輯, pp83-206, 2007年3月

熊本崇「宋御史台制度再攷 梅原郁氏の御史台理解をめぐって」、『集刊東洋学』第100号, pp134-161, 2008年10月

熊本崇「宋紹興対策二種 周必大の省試対策与王十朋の殿試対策」、『国際科挙研究会 第五届“科挙制与科挙学”研究会 報告論文集』, pp272-289, 2009年8月

熊本崇「宋元祐の吏額房 三省制の一検討」、『東洋史研究』第69巻第1号, pp29-59, 2010年7月

川合安「東晋琅邪王氏墓誌について」、『東北大学東洋史論集』第11輯, pp1-22, 2007年3月

川合安「日本の六朝貴族制研究」、『史朋』第40号, pp114-126, 2007年12月

川合安「『六朝貴族制』の学説史的研究」, 科研費・基盤研究C研究成果報告書, 2008年3月

川合安「日本の六朝貴族制研究」, 『魏晋南北朝史研究：回顧与探索』（湖北教育出版社）, pp111-113, 2009年8月

大野晃嗣「明代観政進士制度に関する考察」, 『東北大学文学研究科年報』第56号, pp87-128, 2007年3月

大野晃嗣「『同年齒録』が語る進士とその子孫」, 『集刊東洋学』第98号, pp63-81, 2007年10月

大野晃嗣「明代『官年』現象的考察 関于利用「科挙名録」史料の基礎性研究方法」, 『第四届科挙制与科挙学学術研究会英辞集』, pp55-66, 2008年10月

- 大野晃嗣「從“明代進士登科錄”的編纂看“明清考試文化”中的“官
年”現象」，『國際科學研討會 第五屆“科舉制與科舉學”研討
會 報告論文集』，pp393-401，2009年8月
- 大野晃嗣「景泰天順兩朝的政權運營與科舉 從景帝即位至英宗復辟」，
天一閣博物館編『科舉與科舉文獻國際學術研討會會議論文集』下冊，上海書
店出版社，pp118-131，2011年7月
- 見城光威（2004年4月～2007年3月，助手）「宋太宗政權考（中） 唐宋變革期
政治史研究の一つの試み」，『東北大學文學研究科年報』第56号，東北大學大
學院文學研究科，pp61-86，2007年3月
- 小尾孝夫「試論南朝前期南徐州無實土僑郡太守及僑県令職掌 從新東晉時期晉陵
郡域上僑置無實土僑郡県下僑民的稅租・役・征役負擔問題來考察」，第二屆中
國中古史青年學者聯誼會予稿集，pp119-130，2008年8月
- 小尾孝夫「東晉時期晉陵郡域内無實土僑郡太守・僑県令与僑民關係考論 以僑民
的役・征役・稅租負擔問題為重點的重新考察」，『中國中古史研究（中國中古
史青年學者聯誼會會刊）』創刊号，中國中古史青年學者聯誼會，日本未着，2011
年2月
- 小尾孝夫「南朝宋齊時期的國軍體制と僑州南徐州」，『唐代史研究』第13号，唐代
史研究會，pp3-32，2010年8月

1 - 2 著書

なし

1 - 3 翻譯、書評、解説、辞典項目等

(1) 書評

- 川合安「中村圭爾著『六朝江南地域史研究』」，『東洋史研究』第66卷第
3号，2007年12月，76～82頁
- 川合安「張旭華著『九品中正制略論稿』」，『集刊東洋學』第101号，2009
年5月，96～103頁
- 川合安「唐代初期の「士族」研究 李浩著『唐代 文學士族 の研究』の刊行に
寄せて」，『集刊東洋學』第105号，pp80 - 92，2011年6月

(2) 解説

川合安「南朝」，『中国歴史研究入門』，名古屋大学出版会，pp81-87・96-98，2006年1月

(3) 事典項目

(4) その他

川合安・大形徹・柳川順子・佐竹保子「『隋書音楽志訳注稿』(三)」，
広島中国文学会『中国学研究論集』第22号，pp6-48(川合担当 pp6-12)，
2009年4月

川合安「大学の自治と評議会・教授会」，『東北大学百年史 三』，pp105-122，2010年3月。

川合安「唐代初期の「士族」研究 李浩著『唐代 文学士族 の研究』の刊行に
寄せて」，中国文史哲研究会『集刊東洋学』第105号，pp80-92，2011年6月

大野晃嗣「明清時代の『官僚制』」，山川出版社『歴史と地理 世界史の研究』
第212号，2007年8月

大野晃嗣「2006年の歴史学界・回顧と展望 明清」，史学会『史学雑誌』第116
巻第5号，pp221-230，2007年5月

小尾孝夫「2008年の歴史学会・回顧と展望 魏晋南北朝」，史学会『史
学雑誌』第118巻第5号，pp201-208，2009年5月

小尾孝夫「東晋南朝」，『近三年(2007~2009)日本魏晋南北朝史研究
的動向』(共著)，『第四届中国中古史青年学者国際研討会会議論
文集』，pp486-488・pp494-495，2010年8月。

1-4 口頭発表

(1) 国際学会

熊本崇「宋紹興対策二種 周必大の省試対策与王十朋の殿試対策」，第
五回「科举制与科举学」研討会，北海道大学，2009年8月27日

川合安「日本的六朝貴族制研究」，第九回中国魏晋南北朝史学会，武漢大学/中国
武漢市，2007年10月19日

川合安「南朝史からみた隋唐帝国の形成」，2011年度唐代史研究会夏期シンポジウ
ム，箱根強羅静雲荘，2011年8月22日

- 大野晃嗣「明代『官年』現象的考察　　關於利用「科挙名録」史料の基礎性研究方法」，“漢学研究与中国社会科学的推進”国際學術研討会，浙江大学／中国杭州市，2008年9月25日
- 大野晃嗣「明代『官年』現象的考察 - 關於利用「科挙名録」史料の基礎性研究方法」，第四回「科挙制与科挙学」研討会，南開大学／中国天津市，2008年10月14日
- 大野晃嗣「從“明代進士登科録”的編纂看“明清考試文化”中的“官年”現象」，第五回「科挙制与科挙学」研討会，北海道大学，2009年8月27日
- 大野晃嗣「景泰天順兩朝の政權運營與科舉　　從景帝即位至英宗復辟」，科舉與科舉文獻國際學術研討會，天一閣博物館／中国寧波市，2010年12月20日
- 大野晃嗣「明代會試考官初探　　以《會試録》爲中心」，第八屆科舉制與科舉學國際學術研討會，武漢大学，2011年9月25日
- 小尾孝夫「試論南朝前期南徐州無実土僑郡太守及僑県令職掌」，第二届中国中古史青年學者聯誼会，北京大学／中国北京市，2008年8月30日

(2) 国内学会

- 熊本崇「元祐の吏額房　　宋三省制の一側面」，第57回東北中国学会大会，北海道大学，2008年5月24日
- 川合安「史学の興隆と南朝貴族社会　　「符牒の学」を中心に」，第六回魏晋南北朝史研究会大会，お茶の水女子大学，2006年9月16日
- 川合安「九品官人法の制定と貴族制の形成」，第54回国際東方學者會議東京會議シンポジウム　　，日本教育会館，2009年5月15日
- 川合安「南朝の墓誌について」，第二回中国石刻合同研究会，明治大学，2009年7月25日
- 川合安「南朝の新興貴族」，2009年度東洋史研究会大会，京都大学，2009年11月3日
- 小尾孝夫「南朝前期における南徐州無実土僑郡太守及び僑県令の職掌理解のための一試論」，2008年度東北史学会，秋田大学，2008年10月5日
- 小尾孝夫「学会参加報告　　第二届中国中古史青年學者聯誼会」，中国中世研究者フォーラム，京都大学，2008年11月2日

小尾孝夫「南朝前期の国軍体制と南徐州」，2009年度唐代史研究会夏期シンポジウム，箱根強羅静雲荘，2009年8月24日

小尾孝夫「東晋南朝の「軍郡」 義熙土断と劉裕の対州鎮政策」，第60回東北中国学会大会，秋田大学，2009年5月29日

(3) 研究会

熊本崇「宋紹興対策二種 周必大の省試対策と王十朋の殿試対策」，応用科学史学研究会第三回ワークショップ，東北大学，2009年7月11日

大野晃嗣「明代観政制度考」，応用科学史学研究会，第二回研究集会，東北大学，2006年12月

大野晃嗣「歴史的資源としての漢籍」，第一回「歴史資源としての史料分析の現在」，東北大学，2007年3月

大野晃嗣「明代の進士名簿 「同年齒録」の研究史とその課題」，応用科学史学会，第五回研究集会，東北大学，2007年12月

大野晃嗣「科学名簿から見た明代の進士 「官年」現象の検討」，応用科学史学会第一回ワークショップ，東北大学，2008年8月

大野晃嗣「明代進士登科録編纂に関する一考察」，応用科学史学研究会第三回ワークショップ，東北大学，2009年7月11日

大野晃嗣「明代中期の社会と監生 天順成化年間を中心に」，応用科学史学研究会第七回研究集会，東北大学，2010年9月24日

大野晃嗣「明代会試の試験官に関する基礎的研究 会試録を中心として」，応用科学史学研究会第五回ワークショップ，東北大学，2011年8月4日

2 教員の受賞歴(2007～2011年度)

なし

教員による競争的資金獲得(2007～2011年度)

(1) 科学研究費補助金

- ・ 平成 17 年度～19 年度 基盤研究 (C) 「『六朝貴族制』の学説史的研究」 研究代表者：川合安 500,000 万円
- ・ 平成 18 年度～21 年度 基盤研究 (B) 「思想史的社会史的史料としての科挙答案に関する基礎的研究」課題番号 18320014 研究代表者：三浦秀一 分担者：熊本崇 分担者：大野晃嗣
- ・ 平成 19 年度～21 年度 若手研究 (B) 「中国近世における人事制度とその運用理念に関する基礎的研究 明清時代を中心として」 研究代表者：大野晃嗣
平成 19 年度 1,000,000 円 平成 20 年度 1,170,000 円
- ・ 平成 22 年度～24 年度 若手研究 (B) 「中国明清時代の社会意識と人事制度の相関性に関する研究」 研究代表者：大野晃嗣 平成 22 年度 1,430,000 円
- ・ 平成 22 年度～24 年度 基盤研究 (B) 「科挙文献による明代中国の思想史と社会史」 研究代表者：三浦秀一 分担者：熊本崇 分担者：大野晃嗣 平成 22 年度 各 500,000 円 平成 23 年度 大野晃嗣 700,000 円
- ・ 平成 22 年度 基盤研究 (A) 「石刻史料と史料批判による魏晋南北朝史の基本問題の再検討」 研究代表者：伊藤敏雄 (大阪教育大学) 分担者：川合安 200,000 円
- ・ 平成 22 年度 基盤研究 (B) 「『世説新語』劉孝標注の漢魏六朝文献に関する総合的研究」 研究代表者：佐竹保子 (東北大学) 分担者：川合安 640,000 円
- ・ 平成 22 年度～25 年度 基盤研究 (B) 「最新の考古調査および礼制研究の成果を用いた中国古代都城史の新研究」 研究代表者：佐川英治 (東京大学) 分担者：小尾孝夫 平成 22 年度 300,000 円
- ・ 平成 23 年度基盤研究 (A) 「石刻史料と史料批判による魏晋南北朝史の基本問題の再検討」研究代表者：伊藤敏雄 (大阪教育大学) 分担者：川合安 200,000 円
- ・ 平成 23 年度基盤研究 (B) 「『世説新語』劉孝標注の漢魏六朝文献に関する総合的研究」研究代表者：佐竹保子 (東北大学) 分担者：川合安 300,000 円

(2) その他

- ・平成 21 年度 東北大学若手研究者萌芽研究育成プログラム(総長裁量経費)「東北大学附属図書館蔵の拓本資料の基礎的研究」 研究代表者：齋藤智寛 分担者：大野晃嗣 分担者：渡辺健哉 期間 2009 年 4 月～2011 年 3 月 2,000,000 円
- ・平成 22 年度 研究科長裁量経費 「東北大学附属図書館蔵常盤大定収集拓本の研究と公開」 研究代表者：齋藤 智寛 分担者：大野晃嗣 渡辺健哉 300,000 円

教員による社会貢献(2007～2011 年度)

- ・熊本 崇 2008 年度 高校出前授業 長野県立長野高校(9 月)
- ・熊本 崇 2010 年 9 月 第 9 期有備館講座「『人間』を科学する 文学部の発想」第 5 回講座「北宋の首都開封 『東京夢華録』の世界」 岩出山町有備館
- ・熊本 崇 2010 年度 高校出前授業(12 月)
- ・川合 安 2009 年 9 月から現在に至る 東洋文庫研究員(客員)
- ・川合 安 2010 年 7 月 東北大学オープンキャンパス 文学部公開授業
- ・川合 安 2010 年 9 月 宮城県民大学講師
- ・大野晃嗣 2007 年 9 月 福島県立安積高等学校「大学模擬授業」
- ・大野晃嗣 2008 年 6 月 第七回有備館講座「『時代』を読む」第 2 回講座「科学同期生の名簿から読む中国近世」講師
- ・大野晃嗣 2008 年 7 月 東北大学オープンキャンパス 文学部公開授業

教員による学会役員等の引き受け状況(2007～2011 年度)

- 熊本 崇 東北中国学会理事 2005 年～2010 年
- 熊本 崇 東北中国学会会長 2010 年から現在に至る
- 熊本 崇 東洋史研究会評議員 2002 年から現在に至る
- 熊本 崇 東北史学会評議員 2003 年～2010 年
- 熊本 崇 東北史学会監事 2010 年～2011 年
- 熊本 崇 東北史学会副会長 2011 年から現在に至る
- 川合 安 東北史学会理事 2003 年 10 月から現在に至る
- 川合 安 中国文史哲研究会常任編集顧問 2001 年 10 月から現在に至る
- 川合 安 唐代史研究会幹事 2003 年 8 月から現在に至る
- 川合 安 魏晋南北朝史研究会幹事 2004 年 9 月～2006 年 9 月

川合 安 東洋史研究会評議員 2006年11月から現在に至る
大野晃嗣 東洋史研究会評議員 2005年4月から現在に至る
大野晃嗣 中国文史哲研究会常任編集顧問 2004年10月から現在に至る
大野晃嗣 東北史学会評議員 2009年10月から現在に至る
大野晃嗣 東北中国学会幹事 2010年5月から現在に至る
小尾孝夫 魏晉南北朝史研究会幹事 2008年9月から現在に至る

教員の教育活動

(1) 学内授業担当(2011年度)

1 大学院授業担当

熊本 崇教授

1学期 東洋近世史特論 宋元時代の諸問題
1学期 東洋近世史研究演習 宋元政治制度研究
1学期 課題研究
2学期 東洋近世史特論 宋元時代の諸問題
2学期 東洋近世史研究演習 宋元政治制度研究
2学期 課題研究

川合 安教授

1学期 東洋古代中世史特論 六朝文献史料の研究
1学期 東洋古代中世史研究演習 『宋書』礼志の研究
1学期 課題研究
2学期 東洋古代中世史特論 六朝出土史料の研究
2学期 東洋古代中世史研究演習 『宋書』礼志の研究
2学期 課題研究

大野晃嗣准教授

1学期 東洋近世史特論 明清時代の諸問題
1学期 東洋近世史研究演習 明清官僚制度研究
1学期 課題研究
2学期 東洋近世史特論 明清時代の諸問題
2学期 東洋近世史研究演習 明清官僚制度研究
2学期 課題研究

2 学部授業担当

熊本 崇教授

- 3 セメスター 東洋史基礎講読 『資治通鑑』講読
- 4 セメスター 東洋史基礎講読 『資治通鑑』講読
- 5 セメスター 東洋史各論 宋元時代の諸問題
- 5 セメスター 東洋史演習 中国近世文献史料研究
- 6 セメスター 東洋史各論 宋元時代の諸問題
- 6 セメスター 東洋史演習 中国近世文献史料研究

川合 安教授

- 3 セメスター 東洋史概論 中国史概説
- 4 セメスター 東洋史概論 中国の歴史書
- 5 セメスター 東洋史各論 六朝文献史料の研究
- 5 セメスター 東洋史演習 晋代史料の研究
- 6 セメスター 東洋史各論 六朝出土史料の研究
- 6 セメスター 東洋史演習 晋代史料の研究

大野晃嗣准教授

- 5 セメスター 東洋史各論 明清時代の諸問題
- 5 セメスター 東洋史演習 明清史料研究
- 6 セメスター 東洋史各論 明清時代の諸問題
- 6 セメスター 東洋史演習 明清史料研究

3 共通科目・全学科目授業担当

熊本 崇教授

- 1 セメスター 歴史と人間社会 中世・近世の中国と日本 2009年

川合 安教授

- 1 セメスター 「基礎ゼミ」 史記を読む 2008年
- 1 セメスター 歴史 中国の「中世」 2010年

大野晃嗣准教授

- 1 セメスタ 歴史学 近世中国の社会と科挙 2011年

(2) 他大学への出講(2007~2011年度)

熊本 崇教授

1 学期	石卷専修大学経営学部・理工学部	2007 年
2 学期	石卷専修大学経営学部・理工学部	2007 年
1 学期	石卷専修大学経営学部・理工学部	2008 年
2 学期	石卷専修大学経営学部・理工学部	2008 年
1 学期	石卷専修大学経営学部・理工学部	2009 年
2 学期	石卷専修大学経営学部・理工学部	2009 年
1 学期	石卷専修大学経営学部・理工学部	2010 年
2 学期	石卷専修大学経営学部・理工学部	2010 年
1 学期	石卷専修大学経営学部・理工学部	2011 年
2 学期	石卷専修大学経営学部・理工学部	2011 年

小尾孝夫助手

1 学期	宮城学院女子大学学芸学部	2008 年
2 学期	宮城学院女子大学学芸学部	2008 年
1 学期	宮城学院女子大学学芸学部	2009 年
2 学期	宮城学院女子大学学芸学部	2009 年
1 学期	宮城学院女子大学学芸学部	2010 年